



あしたのために

令和6年9月26日
東京都立立川学園校長
市川 裕二

高校生の就職活動について (聴覚障害教育部門 高等部)

高校生の就職活動は、行政・主要経済団体・学校組織の三者による協定によってルール化されています。企業は、高卒採用のルールを理解した上で活動を行うことが求められています。

都道府県や高校によっては、年間のスケジュールが若干異なる場合もありますが、全体的な活動スケジュールはほとんどが以下のような流れになります。

<2025年3月卒の新規高等学校卒業生の採用選考スケジュール>

- 6月1日 ハローワークによる求人申込書の受付開始
- 7月1日 企業による学校への求人申込及び学校訪問開始
- 9月5日 学校から企業への生徒の応募書類提出開始
- 9月16日 企業による選考開始及び採用内定開始

上記のスケジュールに合わせて、学校としては以下の活動を行っています。

- 前年度～4月 生徒・担任・進路で面談 (候補の会社を確認する)
- 前年度3月～ 希望する会社の見学 (会社の雰囲気、採用に関して確認する)
- 5月～ 採用に向けての実習 (1週間から2週間の実習を行う)
- ※この実習の評価が良ければ応募に向けて動く
- 7月～ 求人票で雇用条件等の確認 (必要があれば保護者に説明する)
求人票確認後、履歴書等の作成と面接練習
- 9月 5日から必要書類を会社に郵送または手渡し
16日から選考試験受験 (webによる適性検査実施する会社もあり)
選考から7日程度で結果の連絡

高卒採用のルールには「一人1社制」があります。このルールは、複数応募すると就職活動に追われ、学校生活に支障が出るのではという観点から作られたものです。どこの企業が自分に合っているかを確認するため、面談、会社見学、実習がとても大切になります。

現在就職を目指している生徒は上記の流れで活動を行い、全員が必要種類を会社に提出し、選考試験に向けての準備を進めました。筆記試験や適性検査対策、また面接練習などを行いました。進路担当としても、内定をいただけるようにサポートし、いい結果を待っている状態です。

小学部6年 校外学習(就業体験) (知的障害教育部門)

7月11日(木)に就業体験として、立川消防署の施設見学をしてきました。消防署では、いつ出動があるかわからないので、どんな種類の消防車が車庫にあるのか、予定通りの見学ができるのか、現地に到着するまで分からず、ドキドキしながら消防署へ向かいました。当日は、消防車だけでなく、署内の事務所や休憩所なども案内していただき、消防署の様々な様子や、働く人を見ることができました。



← 見学が始まって間もなく、出動の放送が施設内に響き渡り、救急車が出動しました。これも貴重な体験です。



← 事前に考えておいた質問を消防署の担当者に聞いてみました。難しい表現は避けて、分かりやすい言葉で説明してくれました。



↑ 出動の要請が入るとすぐに出発しなければならないため、消防服は試着できず、触るだけです。ずっとしり重くて、「これを着て火を消すのか。」とみんな驚きです。

中学部3年 武蔵台学園訪問 (知的障害教育部門)

7月4日(木)、中学部3年生が、都立武蔵台学園高等部の見学・説明会に参加しました。高等部1年生の作業学習(紙工班、陶工班、木工班、布工班など)を見学しました。その他、高等部棟の普通教室の授業の様子を廊下から見たり、更衣室などに入室したりすることができました。参加した生徒は「(入学したら)粘土で皿を作る作業をしてみたい」などの感想を述べ、進学が楽しみになった様子でした。今後の高等部(武蔵台学園)進学までは次のような予定です。

- ① 事前相談 (本人および保護者) 8月～9月
- ② 出願手続き 令和7年1月15日、16日、17日の10時から15時 (時間厳守です)
- ③ 入学相談 令和7年2月4日 (本人および保護者)
- ④ 入学予定者発表 令和7年2月20日 10時
- ⑤ 入学手続き 発表日を含む3日間
- ⑥ 入学説明会 (保護者) 令和7年3月7日

